

南砺市

医療・介護連携拠点に

包括ケアセンター完成

南砺市の医療、介護、保健機能を集約した地域包括ケアセンターが同市北川（井波）の旧南砺総合高校井波高校跡地に完成し、17日に現地で竣工式が行われた。隣接する南砺市民病院などの連携により、在宅ケアのサービス基盤を一層強化し、終末期に至るまで住み慣れた地域で暮らせる環境づくりを進める。業務開始は来年1月4日。



鉄骨2階建て約2460平方メートルで、総事業費は8億8312万円。これまで3カ所に分散していた医療、地域包括ケア、福祉、健康の各課のほか、介護サービスの相談窓口となる地域包括支援センター、井波保健センターを集約し、利便性向上を図る。医療や介護サービスなどを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」構築を先駆的に進めてきた実績を土台に、障害者や生活困窮者らへの支援にも幅広く取り組む。

出席者が医療や介護、保健の一体的な展開に決意を新たにしながら、南砺市地域包括ケアセンター竣工式に同市北川

（知事代理）、才川昌一市議会議員長、山辺美嗣県議があいさつし、医療や介護、予防施策などの一体的な展開に期待を寄せた。

同市の地域医療を担う人材育成に関わってきた富山大附属病院総合診療部の山城清二教授が「南砺市が地域で『まごころを支え合う』仕組みをつくるには」と題し、記念講演した。

来月21日にフォーラム

南砺市地域包括ケアセンター開設に合わせた記念フォーラムが来年1月21日午後2時、同センターで開かれる。センター内にサテライトを設ける富山国際大、富山短大の中島恭一学長が「地域のため」に今、大学・短大ができること」と題して講演。これからの地域づくりをテーマに、田中市長と対談する。